



No. 4 1

2025年12月30日 発行  
J R 東 労 組 新 幹 線 協 議 会  
発行責任者 伊 藤 千 恵 蔵

## 幹本申第5号「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」に関する解明申し入れ（その1）⑩

20. 昇進試験や健康診断、運転適性検査、永年勤続表彰等の開催場所や実施方法について明らかにすること。

### 【回答】

開催場所や実施方法については会社が指定するが、引き続き柔軟に対応していく考えである。

《組合》昇進試験や健康診断は会社が指定するとあるが、何か変化するものはあるのか。

《会社》検討中の部分もあるが、基本的には今の枠組みを継承していく。事業本部との連携も必要。

《組合》エリアごとで受けられるような進め方か。

《会社》分散したほうが、社員にとっては自宅や勤務場所の近くで受けられるメリットがある。一方で担当する社員に限りがあるので、開催回数が減ってしまうデメリットもある。どの形が最適か見定めていく。

《組合》永年勤続表彰は新幹線本部として行うのか。

《会社》今のところ変更はない。

21. 訓練センターの所属と受講する社員のエリアを明らかにすること。

### 【回答】

引き続き、必要な教育・訓練は実施していく考えである。

《組合》新幹線の訓練センターは白河の総合研修センターになるのか。

《会社》新幹線では白河の総合研修センターに場所を借りて訓練をしているイメージ。現時点でその枠組みを変える予定はない。電気と設備では旧支社エリアを中心に訓練している。大宮の設備や白河の総合研修センターを使用しており、特に変更はない。車両センターに整備されている技能教習所も特に変更はない。

22. 新幹線本部で行う生活ソリューション業務を明らかにすること。

### 【回答】

地域に密着し、事業本部やグループ会社との連携により、観光流動創造、構内営業や広告事業等の生活ソリューション業務を担う予定である。

《組合》新幹線本部としても生活ソリューション業務を担っていくのか。

《会社》特定のUTがやるものでなく、全体で取り組んでいく。新幹線本部や事業本部主体の場合やプロジェクト、現場第一線の出来る範囲でやることもある。具体的には、はこビュンを活用した取り組み、車両のラッピングなどがある。発意も大事だが、果たしてそれが必要なことなのか検討していくことも必要であり、それが企画業務であると考えている。内容を管理者が精査していくことに変わりはない。

23. 新幹線本部を設置した場合の交渉単位を明らかにすること。

### 【回答】

「労使間の取扱いに関する協約」に則り取り扱うこととなる。

《組合》協約の議論であることは前提としつつ、どのような方向性になるのか。

《会社》現在のところ考え方は変わらないが、本部一本社間の議論によるところとなる。

**解明申し入れ（その2）に向けて職場で議論をつくり出そう!!**